



北海道藤野村牛中学校
北海道立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

東京 とどの実



〈発行〉

東京とどの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-6-11
湯島ハイタウン A-207

http://www.tokyo-todonomikai.com

mobile 080 - 2123 - 7380

mail tokyotodonomikai@gmail.com

昭和基地

同窓生紹介 Interview

夢を追いかけて

第52次南極観測隊越冬隊員

昭和53年卒 須藤和之さん

地球上のほとんどの場所へ自由に
出かけることができる現代ですが、
行ってみたいと思ってもなかなか行
くことができないのが南極大陸で
す。その南極の昭和基地で越冬隊員
として勤務した須藤和之さんにお話
を伺いました。

小学生の時アマチュア無線(ハム)
の免許を取得し国内を始め世界中の
ハム仲間との交信を楽しんでいた須
藤さんは北斗に入学してすぐに校内
に無線局を開局し『アマチュア無線
クラブ』を創部しました。夢は北見
から最も遠い南極の昭和基地との交
信ですが、その時々々の電波の状態に
左右されて昭和基地となかなか交信
することができません。やっと昭和



須藤 和之さん

基地の電波を捉えてもすぐに途切れ
てしまい涙を飲んだこともしばしば
あったそうです。その後も昭和基地
とは交信できず「いつか必ず南極と
交信してみせる」と心に誓ったそう
です。

須藤さんは「無線のメッカ」電
気通信大学に進み、国際電信電話
会社(現KDDI)に就職します。
アマチュア無線とは違うプロの無
線技術者の世界です。それは衛星
通信地球局の保守管理、携帯電話
基地局の設計や設置、運用を担当
する多忙で責任の重い業務ですが
通信に従事するのが夢だった須藤
さんにとっては充実した毎日だっ
たそうです。

KDDIは南極昭和基地と日本を
結ぶ衛星回線の提供、基地内で隊員
全員がパソコンやスマホでネットが
見られ電話やメール、データのや
り取りもできる環境を提供しそれら
の機材を維持管理する要員を派遣し
ています。須藤さんは「昔、昭和基

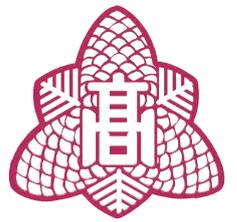
地との交信が
出来無かった
けれど昭和基
地アマチュア
無線局のオペ
レーターにな
ったことやお
う」と社内応
募にチャレンジして狭き門を見事合
格。厳しい身体検査や訓練の後、正
式に「第52次南極越冬隊員」に任命
され、新型南極砕氷船「しらせ」で
2010年12月に昭和基地に着任し
ました。

食料・燃料・機材・車両・交換部品・
生活用品・医薬品は年に一度だけこ
の「しらせ」が日本から運んでくる
物が全てで、何かが足りなくなると
り壊れたとしても補給は1年先とい
う厳しい越冬生活が始まりました。

2011年3月11日の朝、日本と
電話が通じない！まさかの事態
が発生しました。「衛星回線の障害
か、基地内の電話交換機の故障か？
とにかく早急に原因を突き止めて復
旧させないといけません。考え得る
復旧作業を全て試みるも復旧出来ま
せんでした。来年「しらせ」が交換



第52次越冬隊



北見北斗高校創立百周年 記念式典・祝賀会に出席して

東京とどの実会幹事長 昭和52年卒 引地 聰

令和四年（2022年）、北見北斗高校は創立百周年を迎えました。これを記念し、同年九月十七日に母校体育館で創立百周年記念式典、ホテル黒部にて祝賀会が開催され、広川会長と私が出席してまいりました。

記念式典は現在で三代目の校舎となる母校体育館で同日午後二時



より開催されました。聞くところによりますと、この百周年記念式典は在校生と教職員、そしてとどの実会の皆さんが一体となって内容を検討したそうです。



体育館に入りますと、後方には在校生、前方左手に吹奏楽部、右手に来賓、中央左手に我々一般の出席者、という配置が目に入りました。まさに在校生も一体となつての式典だということがわかりました。



生徒会長挨拶

多くの出席者の下、式典が始まり



元村校長式辞

ました。まず最初に、オープニングセレモニーとして生徒会執行部の橋本さんより、生徒会活動の紹介がありました。生徒会行事としての文化祭、体育祭の様子や、各部活動の紹介があり、現在も変わらずに、いや益々盛んに活動していることがわかりました。式典は修礼で始まりました。懐かしいピアノの和音です。中西副校長開式の辞に続いて、これまで亡くなられた方々のために黙祷を捧げました。続いて元村治郎現校長の式辞がありました。北見北斗OBでもある元村校長にとってもご自身が校長を務めている間に創立百周年を迎えることができ、感慨ひとしおだったと思います。元村校長のお話をお聞きして、気づいたことは、北見北斗高校は地域の皆さんの熱意で創立したこと、設置の許

可を受けただけで財政的な支援は一切なく、市民の皆さんからの拠出やご協力により、校舎の確保や建設がなされたこと。また北見市だけではなくオホーツク地区の中核校として、他の市町村からも学生がやって来るようになりますが、当時は寮がなく、あのピアソンさんのお宅を貸して頂き、また奥様が生徒の食事を用意してくれたり、本当に地域の皆様の助けにより育まれてきたことがわかりました。ですから、私たち北見北斗高校の生徒は北見に恩返しをしなければならぬのであり、そのような人材を育てる義務があるのだと語られました。大変感動しましたし、そのような高校で学べ、卒業できたと誇らしくもありました。続いて、小原誠とどの実会会長から、ご挨拶と記念事業目録が在校生に贈呈されました。私たちの寄付金が在校生たちのために使用されることは大変な喜びですし、少しでも彼ら彼女らの活動の役に立てたなら嬉しい限りです。その後、表彰状が歴代校長、感謝状が歴代PTA会長及び小原会長に送られました。受賞された皆

さんを代表して第三十代渡部校長からお礼のご挨拶を頂きました。

式典も後半に入り、祝辞を頂きました。北海道教育委員会教育委員の橋場博之様からは、橋場様自身、北見北斗のOBですので、母校への祝福と未来への期待を熱く語って頂きました。

続いて、現北見市長の辻直孝様から、北見市だけではなく、オホーツク地区の中核校としての北見北斗への更なる期待を示していただきました。

祝文・祝電披露のあと、生徒代表として野口生徒会長が挨拶されました。大変立派な挨拶で、OBとしてまた生徒会の先輩として、大変心強く思いました。

その後、校歌を清聴し、成田教頭の閉会の辞、そして修礼をもって記念すべき式典が閉式となりました。

閉式の後、列席者への感謝の印として、吹奏楽局によるミニコンサートがありました。佐野先生の指揮の下、「シンフォニア・ノビリッシマ」など4曲が演奏されました。いずれも素晴らしい演奏でした。そしてアンコール。女子学生たち

が楽団の前で演奏に合わせてダンスを披露してくれました。個人的な印象としては、今日、一番盛り上がりました。私たちの時代には想像もできませんでしたが、吹奏楽とダンスパフォーマンスが今時なのですね。とても素晴らしかったです。

こうして式典は終了となりましたが、別教室ではこれまでの母校の歩みや記念の品々が展示してありました。中には、花園や甲子園への出場にまつわるものもありました。過去の栄光、先輩たちの輝かしい業績に思いを馳せることができました。

午後六時からホテル黒部で祝賀会が開催されました。同ホテル2階の大広間に十四の円卓に六名ずつ着席、間に衝立を建ててコロナ対策をしながらの祝賀会となりました。

小原会長のご挨拶の後、橋場様、寺山PTA会長の祝辞を頂き、元村校長の謝辞をもって祝杯に移りました。祝杯は強行遠足を通じて懇親を深めている山梨県立甲府第一高等学校長の安達徹様によって

なされました。ちなみに甲府第一高校は明治十三年（1880年）創立、今年で143年となる名門校であり、また強行遠足も大正十三年（1924年）に始まっている先輩校でもあります。

祝宴では、はじめは着座して黙食していましたが、普段なかなか接することができない皆様なので、次第に席を離れ、あちこちで立ち話が始まりました。私も同期や先輩方と話し始めてしまいました。偶然にも隣の席が前とどの実会会長の渡辺和勇様で、話しているうちに、野球部の大先輩であることがわかりました。それをきっかけに、これまで会ったことがない30代くらいの同部の後輩や現監督とも挨拶ができました。このような偶然の出会いがあるのも、OBの祝賀会の良いところでありました。

宴たけなわのころ、参加者から



東京とどの実会広川会長挨拶

のご挨拶の時間があり、我が広川会長も壇上に立ち、東京とどの実会の活動など、お話しされました。また、ステージではアトラクションとしてサックスとピアノの演奏が始まりました。聞けば彼らも北見北斗OBであり、サックスの重井さんはプロとして活躍中で、ピアノの垂水さんは別のお仕事をしながらピアノ演奏でもご活躍されているとのことでした。

二人の素晴らしい演奏を聴いた後、新・旧校歌の清聴と渡辺前会長の万歳三唱で祝賀会の幕を閉じました。

記念式典と祝賀会が同日に開催されましたが、あつという間の一日でした。久しぶりに北見を訪れ、母校を訪れ、OBの皆さんと話し、最後は同期の開いた居酒屋で飲む。なんとも密度の濃い北見訪問でした。そして生徒や先生方、そしてOBが北見北斗高校をこれまで、そしてこれから大いに発展させてくれるものと確信いたしました。



▲創立100周年記念式典の様子をライブ配信
(北見北斗チャンネル)

北見北斗高校ラグビー部花園初戦観戦記

昭和52年卒 引地 聡

昨年、北見北斗高校ラグビー部は13年ぶりに花園に出場しました。今回で38回目の出場とのことです。小野監督の指導の下、20名という少ない部員数で、また多くの選手が高校入学後にラグビーを始めるなど、経験の少ない選手も多い中、少数精鋭で北北海道大会決勝では旭川龍谷大学高校を23対14で下しての花園出場でした。

今回、52期同期の石川求君と共に東大阪市の花園ラグビー場での初戦、石川県代表の日本航空高校石川との対戦を応援してきました。

早朝の新幹線とJR、近鉄を乗り継ぎ、午後一時過ぎに花園ラグビー場のある東花園に到着しました。駅から競技場までの道沿いでは北見北斗が一番上にプリントされた出場校のTシャツが売られていました。誇らしいです。花園ラグビー場は3つのグラウンドと練習場とからなり、私たちが到着した時には、練習場で北見北斗の選手たちが最後の調整をしていました。

特に、ラインアウトを繰り返し練習していたのが印象的でした。

北見北斗の初戦は第2グラウンドで開催されました。私たちは向こう正面の得点ボードの左側に陣取って応援しました。予想以上に多くの方が応援に来られていましたが、とどの実会の関西支部の皆さんが中心となり、横断幕を掲示していました。



さあ試合開始です。キックオフ後、北見北斗が敵陣内に攻め入りボールを支配、前半2分にSO中嶋優斗選手(3年)の約40メートルのPGで先制、幸先の良いスタートを切りました。しかしその直

後、8分に日本航空のCTB栗本選手がトライを決め(ゴールはならず)、前半は3対5の2点ビハインドで終える互角の戦いを見せました。

後半は一転、相手ペースで試合が進み、2分には相手SH久保田選手にトライを決められるなど、4トライを許す苦しい展開となりました。北斗有利の展開でのラインアウトにおいてもミスが続き、そこを突かれたのが痛かった。練習グラウンドで最後まで練習していたラインアウトを生かせなかつたは残念でした。

終了間際、27分にCTB藤枝航史選手(3年)が初トライを奪いました。ゴールも成功、実に北斗らしいよいトライでしたし、意地を見せられたと思います。



北見北斗の13年ぶりの花園は幕を閉じました。相手日本航空のシアオシ・ナイ監督の試合後のコメント通り、前半は圧倒的に北見北

斗が有利に展開していました。後半、相手バックスの素早い左右からの攻撃に翻弄され、ラインアウトなどのミスが突かれて得点を許したものの、出場が決まってからの3か月は受験勉強の合間を縫って練習するなど大変な苦勞を重ねたようですが、それにもかかわらず、花園で立派な戦いを繰り広げた北見北斗ラグビー部は素晴らしかったと思います。



試合終了後、選手たちが応援席まで来て、主将の荒田選手が「この3か月、苦勞しながらもチームをまとめ

ここまで来ました。皆さんの応援に心から感謝いたします。」と挨拶された時には、心にジーンとするものがありましたし、私も高校時代に野球部で甲子園を目指して猛練習したことなどを思い出し、感慨深いものがありました。

北見北斗高校ラグビー部の皆さん、関係者の皆さん、大変お疲れまでした。

節目の歳を迎えて

昭和47年卒 小野 道夫

古希を迎えて

北斗を卒業して、50年以上が過ぎました。私は石油開発会社に就職し、65歳で定年に達するまでこの業界にいました。具体的には、サウジアラビア及び中国に合計10年弱駐在した他、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジア等に出張を繰り返して来ました。現在は東京家庭裁判所で調停委員を務めています。

振り返ってみますと、幾つか思い出されることがあります。サウジアラビア駐在は1980年代であり、エネルギー確保の重要性が高まって



ベルギー・ブリュッセルにて

きた時代で、目的意識を持ち業務を進めてきました。又、次男がそこで生まれ周囲の協力も得て何とか育てることができたことも思い出されます。湾岸戦争の際、油にまみれた海鳥が大きく報道された場所です（私は戦争前に東京に転勤していましたが、同僚が多く残っており東京本社も常に緊張状態でした）。

中国駐在は単身で2006年から2009年の間です。中国の経済発展が目覚ましい時でしたが、今ほど日本に対する見方は厳しくなく中国人社員との飲み会も頻繁でした（因みにサウジアラビアは禁酒国でした）。北海道を訪問したことがある社員とは「上海ガニと毛ガニのどちらが美味しいか」との議論をして、杯を重ねたこともありました。

調停は男女の委員がペアを組んで進めますが、相手の委員がどんな人か知ることは調停進行とは直接関係はないものの、サイド情報として重要と考えています。その際、自分から話を切り出すことに努めています。高校が北見であること（ロコソラーレのおかげで有名）とサウジアラビア駐在から、マイナス30度からプラス50度まで経験ありとすると、

多くの人が興味を示してくれます。

このような文章を書いたのは、同期の飲み会における楽しい雰囲気の中でのI氏からの勧めに応じたものです。常に幹事役を担ってくれるY氏を始め同期メンバーに感謝するとともに、引き続きこんな飲み会を継続したいと勝手ながら考えています。

昭和56年卒 吉見じゅり

人生の節目に当たって

令和4年4月から令和5年3月にかけて順次還暦を迎えた56期生。そろそろ集まりませんか？そんな声掛けから昨年神社巡りと会食の企画を立てるも集まったのは6人だけ。連絡は30人位。一昔前は60歳定年を一区切りで、老後の構想をする、そんな年齢という印象でしたが、同期生からの情報は、

10年来転勤先の中国で今尚働き続けているがこの3年はコロナで帰国すら出来ないという同期生。

59歳で初めて入院手術。今は元気だけど療養中という同期生。

一段落ついて世の中のために何かできることはないか模索中という同期生。

伴侶の入院で人生観が変わったという同期生。

子どもが大学生になって自分の時間を見直し中という同期生。

白内障の手術を体験したという同期生。

介護で帰省することが多くなったという同期生。

週末ボランティアで小学生に勉強を教えることが楽しいという同期生。

まさかの還暦転勤で東京を離れているという同期生。

再雇用を取り付けたが生活水準を見直し中という同期生。

闘病生活真つ只中という同期生。

大学院に通い始めたという同期生。

公的機関のトップについていた同期生。

みんなそれぞれで、筆者はというと、新たに持病と付き合っていくことになる中、仕事をセーブする予定が増える一方で、元気に働くことが目下の目標。

そういえば老後は好きな歌を楽しむ時間やボランティアで読み聞かせをする時間を持つつもりでしたがはかない夢になりました。

仕事は責任があるから頑張るけれどそれ以外は無茶せず時の流れに身を任せていこうと思っ56期生です。

会員の近況報告

昭和61年卒 鎌田 哲生

北見北斗高校の思い出

北見北斗高校を卒業し37年が経ちますが、学生時代の思い出と言えば、中学校や大学時代よりも、多感な15歳から18歳の時期を過ごした高校時代の思い出を真っ先に思い出します。

勉強が楽しくて学校に行った記憶はありませんが、学校に行けば仲の良い友達と会え、部活や学校帰りに一緒に過ごす時間がとにかく楽しかったと覚えています。

自分が北斗高校のイベントの中で一番の思い出として残っているのは、文化祭です。1年生の時、あまり取り組まれていない、8mm映画をクラスみんなで出演し作成。文化祭当日の朝までフィルム編集や音声入れなど、我が家に泊まり込みで作業し、やっとの思いで上映できた時の充実感と、意外と評判が良かったのはいまだに忘れられません。それに味をしめ2年

目では演劇、3年目はクラス全員でウィーアーザワールドを熱唱、後輩から「感動した」との感想をもらったときの嬉しさは格別でした。もちろん北斗高校文化祭名物の仮装行列の山車づくりもみんなで協力して遅くまで頑張ったのは本当に良い思い出です。

また文化祭以外でも、テレビドラマのスクールウォーズに感化させられながら、球技大会で熱くなったラグビー、今では考えられない距離を全員で完走した強行遠足など、北見北斗高校には本当に思い出深い行事がたくさんあり、全部いい思い出となっています。

50歳を過ぎた頃から同窓会を開くようになりました。3年前の東京とどの実会総会後にも同窓で集まり、みんなで思い出話に花を咲かせ、ま



2019年のとどの実会総会后に開いた同期会

るで高校時代に戻ったかのように楽しい時間を過ごしました。やはり友達と会えることは、思い出を振り返ると合わせて、みんなの元気な姿、活躍している姿から元気をもらうことができ、自分にとっての大きな活

今年の散策案内

浜離宮から芝離宮へ

3年ぶりの総会が開催される竹芝地区の竹芝棧橋からは伊豆諸島、小笠原諸島行の船が出ている。小生も10年くらい前、同期会で伊豆大島まで利用したことがある。丁度「椿祭り」の最中で、結構大きな船なのに満席だった記憶がある。

今年竹芝近くの浜離宮と旧芝離宮を散策するコースを企画してみた。総会前に、高層ビル群に囲まれた二つの和風庭園を歩き、お腹を空かしてから、総会で懐かしい同窓生達との美味しい懇談に望んでもらおうという趣向である。

浜離宮は、承応三年（1654年）に造営されて以来、代々徳川将軍家の別邸として使われ、「浜御殿」と呼ばれてきた。明治維

力になります。今年4年ぶりに東京とどの実会の総会が開かれるとのことですので、これを機会にまた皆で集まり、楽しい時間が過ごせることを楽しみにしています。

新後「浜離宮」と名称を変え、昭和二一年からは「浜離宮恩賜庭園」として公開されるようになった。

ほど近いところにある旧芝離宮は、幕末紀州徳川家の芝御屋敷であったものが、明治維新後有栖川宮家の手を経て宮内省が買い上げて芝離宮となり、1924年、東京市に下賜されて「旧芝離宮恩賜庭園」として公開されるようになった。



浜離宮は高層ビル群に囲まれている

散策ルートは、JR新橋駅を起点とし、2つの庭園を散策した後、総会会場のホテルアジュール竹芝に至ります。

北斗高校と恩師に感謝

同期である北斗高校の現教員である鈴木収先生から推薦を受け、第62期の幹事をさせていただいております。現在は世田谷区と横浜市青葉区にキャンパスがあります、日本体育大学に勤めております。同大学ラグビー部ではヘッドコーチ、監督、部長等を務めて参りました。

私は訓子府町より約1時間をかけ、残念ながら廃線となった「JR池北線」で北斗高校に通学しておりました。在校中はラグビー部に所属し、花園で勝利することを目標に、練習や合宿試合に明け暮れる日々でした。当時のラグビー部の練習は1時間30分から2時間と短期集中型であり、「文武両道」を体現する汽車通生にとつてはとてもありがたく、同期には置戸、訓子府、留辺蘂、端野から通う仲間がおりました。私はもっぱら「武」ばかりで「文」は抜け落ちておりましたが…。3年時には父親の転勤で北見に越すことになり、両親にお願いして「孟母三遷の教え」ではございませんが北斗高校グラウンド横に家

を借り、早朝練習等ラグビー技術の向上に努めるほどラグビーにのめりこんだ時期でした。その甲斐あって3年時の全国大会では1回戦でレベルの高い大阪代表の島本高校に同点抽選で勝利し、2回戦では前年度優勝校である東京代表の大東一高に敗れるも18対9という僅差の試合をすることができ、「北見からでも全国で通用する」という自信を持てた瞬間でもありました。当時の監督は故橋本定彦先生であり厳しい中にも愛情のある指導をしていただき、その指導と合宿や全国大会の経験により私は育てられたと思っております。大学生時代、教育実習を母校でさせていただいた際には指導教員として橋本先生の指導に触れ、高校生時代に気づかなかった指導を勉強させていただきました。先生には「卒業したら、北海道で北斗でラグビーの普及・強化のために帰ってこい」と言っていたいただいたことを思い出します。母校と橋本先生に育てていただき、感謝という言葉以外にはありません。

昨年末、ご存じの通り北見北斗高校ラグビー部は13大会ぶりに北北海道大会を制し、東大阪市花園ラグビー場で行われた全国大会への出場権を



昨年末の花園、北斗1回戦応援に集まった61,62,63期生前列左から2人目が米地さん

得ました。なかなか勝てない苦しい期間、指導に当たってきた顧問、監督、コーチ、OBの方々は大変苦勞なさったことでしょう。伝統を守ってきた、そのご努力は称賛に値するものであります。12月27日の日本航空石川戦には花園ラグビー場に各年代の多くのOBが応援に駆け付けました。ゲームには敗れたものの北斗選手の気持ちのこもったプレーは素晴らしいものであり、全国大会出場に加えゲームでのパフォーマンスは多くのOBに勇気と楽しみを与えてくれました。現役の選手にはお疲れ様の言葉をかけたいと同時に、「自信」をもって卒業後の人生を送っていただきたいと思えます。また、この選手の中から母校の生徒を育てる指導者が育っていくことを願っております。

北見北斗高校創立百周年記念 トートバッグ作成

東京とどの実会では、昨年北見北斗高校の百周年を記念してトートバッグを作成し、東京とどの実会の会費を払って下さった皆さんにお礼としてお送りしました。キャンバス地に校章と100th Anniversaryをプリントした左のようなデザインの、A4が収まるバッグです。

まだ少し在庫がありますので、今年の総会・懇親会の席上でご希望の方に1,000円でお分けしたいと考えております。当日会場でお手にとってご覧ください。





52次隊
昭和基地アマチュア無線局
QSLカード(交信証明書)

信するとい
う最高の形
で実現した
のでした。

一面インタビュアーの続き
機材を運んで来るまで電話が通じないのか。責任を果たせない自分は針の筵に座る事になるのか...と焦りました。それから数時間後、日本の国内電話網を経由しないインマルサット回線を経由して『先程、日本で大きな地震が発生し、日本国内の電話網が使えない状況であり、衛星回線と昭和基地内の設備障害ではない』旨の連絡が入り一安心しました。昭和基地には新聞もテレビも無く、辛うじて通じたインターネット回線です。『東日本大震災』の被害状況がやっ

と把握できる様になりました」

北斗時代の「いつか必ず南極と交信」という誓いは「日本アマチュア無線連盟昭和基地無線局(コールサイン:8J1RL)」のオペレーターとして南極から世界のハム仲間と交

東京とどの実会

- 会員数 1,110人 2023年3月31日現在
- 会費納入数 172人 2023年3月31日現在
- 総会出席者数
- 2020年 中止
- 2021年 中止
- 2022年 中止

2021年度会計報告書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	1,630,317	製本印刷費	135,821
総会懇親会収入	0	総会懇親会費	0
年会費収入(186口)	372,000	通信交通費	130,602
寄付金収入	0	消耗品費	0
預金利息	12	渉外費	7,784
		会合費	0
		支払手数料	34,564
		次期繰越金	1,693,558
合計	2,002,329	合計	2,002,329

東京とどの実会役員		幹事	
役職	氏名	氏名	卒年
名誉会長	昭26年卒 小山内 清孝	昭40年卒	前田 良三
顧問	昭27年卒 宮井 国夫	昭42年卒	平澤 芳樹
監査	昭37年卒 半田 護	昭43年卒	池田 順子
会長	昭40年卒 長谷川 知子	昭43年卒	木村 篤
副会長	昭34年卒 馬場 正孝	昭44年卒	井上 順治
副会長	昭39年卒 村田 由美子	昭45年卒	岡田 光弘
副会長	昭42年卒 広川 正三	昭45年卒	池田 好美
副会長	昭44年卒 角 論	昭46年卒	松田 寛
副会長	昭47年卒 生駒 篤	昭46年卒	小沼 裕一
副会長	昭50年卒 田上 博志	昭49年卒	伊東 千鶴子
副会長	昭53年卒 渡辺 由紀子	昭50年卒	村上 幸子
副会長	昭52年卒 引地 聡	昭55年卒	立崎 幸子
副会長	昭48年卒 矢萩 典行	昭56年卒	吉見 じゅり
副会長	昭59年卒 渡邊 範道	昭58年卒	大場 伸子
幹事	昭61年卒 鎌田 哲生	昭59年卒	久保 依子
幹事	昭40年卒 石渡 俊弘	昭62年卒	柳田 美和
			米地 徹

編集後記

・今年はいよいよコロナが下火になり、待望のとどの実会総会・懇親会ができそうな気配です。3年間中止になったのですから、今年高校を卒業する生徒たちにとってはまさに入学から卒業までずっとコロナ禍の高校生活だったわけですね。自分の高校時代を思い起こせば人生の中で知己と呼べる友人と出会い、勉強はそれなりに、部活、文化祭、体育祭、早飯の後の昼休み、クラス対抗のラグビーなどおおいに楽しめました。今年卒業する3年生はどんな高校生活だったのでしょうか。何十年か後に楽しかったと思わせることを願っています。(N・Y)

お亡くなりになった方
ご冥福をお祈りいたします。

野田 昌子 27期 (旧姓 上村)
土田 光義 34期
高田 幸子 39期 (旧姓 加藤)
福井 尚登 46期
松本 優治 47期



思い出の写真
昭和52年卒

上: 野球の全校応援
中: 体育祭でのラグビー
下: 体育の授業でのスキー